

..... 公式ルール

基本：利き手に割り箸、逆手に公式碗を持ち、フタに入れた大豆を1分間に何粒お碗の穴に置くことができるかを競う。

スタートの合図があるまでスタートラインを越えない。
 時間内に32粒を乗せ終わったら二杯目へ『おかわり』をして、引き続きゲームをおこなう。

右のページを見て『おかわり』の仕方をマスターしよう！

豆が溝にはまった場合、箸で挟み穴へ置く。

床やテーブルに落とした豆はひろわなくてよい。

終了の声ですみやかに箸を置く。

終了の声がした時点で、箸で挟んでいる空中にある豆は穴に置いてはいけない。終了時点で穴に置いてある豆だけカウントします。(一度置いた豆がこぼれた場合はカウントされません。)



用意(二杯目のお碗はチーフの上ならどこに置いてよい)



合図があるまで箸を持つ手はスタートラインを越えない。

姿勢：椅子に着座し背筋をのばし、お碗・箸を正しく持つ(利き手)。手や肘をテーブルにつかない。(ついた場合はファールとみなし、失格となるので注意しましょう。)



礼儀：お碗と箸を持ち、スタートの合図を待つ。ゲーム終了後、箸を置いてお碗をもとの場所にもどす。

審判：タイム計測(1分)と姿勢やファールなどをチェックする。

..... 『おかわり』の仕方.....



① 32粒乗せ終わったら箸を「箸置き」に置く。



② いっぱいになったお碗を両手で置く。お碗を置く時にこぼした場合は、こぼした豆はカウントされません。



③ から 空のお碗を両手で取る。



④ 「箸置き」に置いてある箸を正しく持ち、お碗に豆を置く。

間違った方法でおかわりすると審判から教育的指導を受けます。

そのまま続けてしまうとおかわりしたお碗の豆の個数はカウントされず、記録は最初のお碗に乗った豆の個数のみになってしまいます。

間違った場合は正しいおかわりの方法でやり直してから、おかわりのお碗に豆を置いて下さい。(2011年4月 ルール改定)